



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL) 06-7711-2571  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,524	8.6	1,207	3.9	1,426	4.4	942	△1.4
30年3月期第1四半期	18,892	4.2	1,161	17.7	1,366	20.9	956	34.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 831百万円(△21.7%) 30年3月期第1四半期 1,062百万円(297.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.07	—
30年3月期第1四半期	17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	84,691	55,354	64.2
30年3月期	84,330	55,024	64.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 54,431百万円 30年3月期 54,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		9.00	16.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	6.6	2,300	0.2	2,500	△5.1	1,600	△16.8	28.78
通期	85,000	6.3	5,000	3.7	5,500	2.1	3,500	8.00	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	55,577,526株	30年3月期	55,577,526株
31年3月期1Q	372,649株	30年3月期	372,579株
31年3月期1Q	55,204,912株	30年3月期1Q	55,205,308株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調がみられたものの、諸外国の政策動向に対する懸念や原油をはじめとした原料価格の上昇などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は205億24万円（前年同期比8.6%増加）、営業利益は12億7百万円（前年同期比3.9%増加）、経常利益は14億26百万円（前年同期比4.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億42百万円（前年同期比1.4%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しています。以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### ① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、化学、半導体などの仕向け先において業績の回復がみられるなか、シリンダーガスビジネスの収益力強化のため生産体制の合理化などを進め、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、新規需要先の獲得があったものの、建設、橋梁など現場工事向け及び造船向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガスがそれぞれ半導体、溶接、食品向けに需要先の新規獲得及び需要回復により増加しました。LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、新規需要先の開拓や設備工事等の受注増により、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、半導体向けに特殊容器が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は153億60百万円（前年同期比8.8%増加）となりました。営業利益は10億84百万円（前年同期比3.5%増加）となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、ナフサ価格の上昇による原料価格の高騰など厳しい状況が続くなか、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが紙用、塗料用、土木用に需要を伸ばし、シアノンが海外向けにコンシューマー用が増加し、また、ペガロックは海外向けが新規需要先の獲得により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が新製品の上市により需要を伸ばしたものの、改修用塗料が減少し、エアゾール製品は塗料用が新規需要先の獲得により増加したものの、売上高は、前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は44億14百万円（前年同期比0.7%増加）となりました。営業利益は原料費及び輸送費の高騰により3億70百万円（前年同期比1.8%減少）となりました。

#### ③ その他事業

LSIカード関連が鉄道事業者向けの需要が減少したものの、食品添加物が新規需要先の獲得により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億49百万円（前年同期比87.6%増加）、営業損失は37百万円（前年同期は、22百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間から、繰延税金資産及び繰延税金負債について表示方法の変更を行っており、当該変更の内容を反映させた組み替え後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行なっています。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円増加して846億91百万円となりました。流動資産は、売上債権は増加により前連結会計年度末に比べ3億73百万円増加して、481億47百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加があったものの投資有価証券の時価が下落したことにより前連結会計年度末に比べて12百万円減少し、365億44百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加して293億36百万円となりました。流動負債は、仕入債務が増加したものの賞与引当金、未払法人税等などの減少により前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、247億35百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債の増加により前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、46億1百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加して553億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成30年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,218	19,058
受取手形及び売掛金	21,455	21,634
電子記録債権	2,528	2,727
商品及び製品	2,571	2,652
仕掛品	438	440
原材料及び貯蔵品	1,258	1,287
その他	380	426
貸倒引当金	△76	△79
流動資産合計	47,774	48,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,540	6,595
機械装置及び運搬具(純額)	2,815	2,879
土地	13,277	13,255
建設仮勘定	563	561
その他(純額)	927	916
有形固定資産合計	24,124	24,208
無形固定資産	320	304
投資その他の資産		
投資有価証券	11,384	11,302
繰延税金資産	137	142
退職給付に係る資産	11	11
その他	643	641
貸倒引当金	△66	△66
投資その他の資産合計	12,110	12,030
固定資産合計	36,556	36,544
資産合計	84,330	84,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,813	11,838
電子記録債務	5,903	6,256
短期借入金	1,466	1,506
1年内返済予定の長期借入金	1,012	1,008
未払法人税等	683	201
賞与引当金	1,285	596
その他	2,591	3,327
流動負債合計	24,756	24,735
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	452	439
役員退職慰労引当金	39	40
繰延税金負債	1,303	1,367
その他	752	754
固定負債合計	4,548	4,601
負債合計	29,305	29,336
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,760	2,760
利益剰余金	44,661	45,106
自己株式	△199	△199
株主資本合計	50,107	50,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,289	4,211
為替換算調整勘定	47	△8
退職給付に係る調整累計額	△340	△325
その他の包括利益累計額合計	3,997	3,877
非支配株主持分	919	923
純資産合計	55,024	55,354
負債純資産合計	84,330	84,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	18,892	20,524
売上原価	13,367	14,932
売上総利益	5,525	5,592
販売費及び一般管理費	4,364	4,384
営業利益	1,161	1,207
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	97	109
受取手数料	30	27
為替差益	9	25
その他	105	97
営業外収益合計	243	260
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	29	33
営業外費用合計	38	41
経常利益	1,366	1,426
特別利益		
固定資産売却益	100	5
その他	0	—
特別利益合計	101	5
特別損失		
固定資産売却損	—	14
ゴルフ会員権評価損	8	—
特別損失合計	8	14
税金等調整前四半期純利益	1,459	1,417
法人税、住民税及び事業税	167	371
法人税等調整額	331	92
法人税等合計	498	463
四半期純利益	960	953
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	956	942



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	960	953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	△81
為替換算調整勘定	△29	△55
退職給付に係る調整額	16	14
その他の包括利益合計	102	△122
四半期包括利益	1,062	831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,053	822
非支配株主に係る四半期包括利益	8	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,112	4,380	399	18,892	—	18,892
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,112	4,380	399	18,892	—	18,892
セグメント利益又は 損失(△)	1,047	377	△22	1,402	△241	1,161

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△241百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,360	4,414	749	20,524	—	20,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,360	4,414	749	20,524	—	20,524
セグメント利益又は 損失(△)	1,084	370	△37	1,417	△209	1,207

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△209百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を一部見直し、従来の「化成品事業」に含まれる一部商品の報告セグメントを「その他事業」に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。